

込み上げる感謝を胸に 家族そろって神の館へ

神魂に届ける

“感謝”“報恩”の思い

心静かに一年を振り返り、湧き上がる感謝、得られた心の成長、報恩の真心を「御礼御祈願書」へ。また、「愛礼の儀」で直接神魂にお届けしましょう。

大切な人も共に仕合せに

教えで生きる素晴らしさを、大切な家族や友人が共に味わえるように、自信を持って伝えましょう。神示教会の「ご案内会」を随時開催していますので、気軽に神の館へのご案内ください。

真心を込めて浄財奉納

日々のご守護への感謝をお届けする、御礼浄財奉納にご協賛をお願いします。

故人、先祖に安心感を

家族が仲良く、調和する姿に、故人、先祖の魂は安心します。「神玉祭」の儀式で、家族の仕合せな姿を報告しましょう。社会情勢に鑑み、神飾り奉奠は行いませんが、安明殿、安明の間で心行くまでご挨拶していただけます。

救われた喜びの輪を広げる

神の教えで生きる中で体感した喜びは、「喜びの声」用紙にご記入の上、神総本部「喜びの声」投函箱、または偉光会館総合受付にご提出ください。寄せられたお声は、喜びの輪を広げるために活用させていただきます。

密集を避けるため、今年の記念祭は招待制、「愛礼の儀」「神玉祭」の儀式は、地区指定を設けるなどしています。詳細は、公式サイトでご確認ください。



令和2年（聖日34年）

光寿信者参拝時

間もなく光寿信者参拝時——

大きな変化を続ける社会の中で

一つ一つを糧にして

最高の“実りの秋”を迎える準備は

整っていますか？

大山祇命神示教会

いま一度、 年頭に表された「祈願祭」の神示を 心静かに読み返してみましよう! (『友輪』329号4ページ)

ことしがどんな年になるのか、だから何を意識して生きればよいか…。
「祈願祭」でつかんでから8カ月。その神示を心の軸に据え、
一日一日歩みを重ねる中で、神の教えの実践はいかがでしたか?

家族や友人、縁ある人との会話を楽しんでいますか?

会話はキャッチボールです。相手から投げられた、どんな球をも受け止めて、取りやすい球を投げ返す。そこに、心が通い合うやりとりができます。まずは自分から実践!

周りから好かれる人になっていますか?

「お互いさま」の気持ちを忘れず、相手の立場に立って関わるのが大切です。

自ら、人のために、正しく関わられていますか?

つい相手に求めてしまう…、責めてしまう…、頼まれてもいないのに口を出してしまう…、そんなことはないでしょうか。

“教えの実践”が、独り善がりになっていませんか?

もし、「自分は実践しているのに何の変化もない」と感じているなら、「教え」の解釈が少しズレているのかもしれない。あるいは、「これは無理」と自己流になっていませんか。「無理」という決め付けを乗り越えた先の喜びを、ことしこそ手にしましょう!

まだ間に合う!

実践しきれていないところが見えたなら
教えを学び直して、生き方の改善に努めましょう。
実体の修正は、命ある今しかできません!

学んで

『友輪』329号、330号

“今”の正しい生き方につながる、ことしの神示を総ざらい!

教会図書

夫婦、親子の在り方も、教えの根本となる真理も、悩んだときの解決策も見える5部作*で、合わせへのヒントを再確認!

公式サイト

教主の神示解析、神奉仕の「心の基」、
“運命”の生かし方など、今、つかみたい
ことが盛りだくさん!

動画配信

必ず届けたい行事をメルマガで配信中!

教務相談

学んでいても心は迷う。そんなときは
教えの生かし方を確認!

祈願

「真理で生きられますように…」こうした漠然と教えをなぞるだけの、優等生的な祈願になっていませんか?

大切なのは、自分の心に込み上げる“本音”を訴えること。

目指すべき姿になるために、何が足りないのか、どんな心が邪魔をするのか、教えて我が身を振り返ってこそ、そこに気付け、実体を修正する祈願ができます。自分を客観的に見詰め、心の奥の奥にある「本心」に目を向けましょう。

愛ある人に

神の教えを学び、祈願しながら実践に努めていると、他者を思いやり、人のために自分の持ち味を生かそうとする、“愛”の心が深まっていきます。

学んで 祈願 愛ある人を目指してごらん

人物との出会いが生きて 今を「生きる」喜びを体験できる

*『人生の真理30』『理知の真理12』『心の正道16』『友輝24』『実りの光27』